

# 一般社団法人京都知恵産業創造の森 令和3年度事業計画

一般社団法人京都知恵産業創造の森は、知恵産業の創出拠点である京都経済センターを核に、様々な知恵の交流と融合による新たな価値の創造を図るとともに、次代の京都産業を担う産業人材の育成や、オール京都の中小企業支援など、戦略的に産業振興施策を推進し、知恵と文化、技術を基軸に持続可能な京都の産業発展と経済活性化を図っていく。

令和2年度は、4月にスタートアップ推進部を新設し、オール京都でのスタートアップ・エコシステムの確立に向けた連携をはじめスタートアップの創出及び育成支援の取組に着手したほか、新型コロナウイルスの感染拡大により、セミナーや交流会等多くの事業の開催が危ぶまれる事態となる中、講演や打合せをオンラインに切り替えるなど、感染拡大防止と事業運営の両立に積極的に取り組んだ。

令和3年度は、経済成長はもとより社会課題の解決において先導的な役割が期待されるスタートアップの更なる創出や成長ステージに応じた支援の拡充、スタートアップ・エコシステムの確立を加速させる京阪神連携をはじめ、ポストコロナ社会における持続的な成長を見据え、生産性向上による経済成長の鍵となるオープンイノベーションやスマートファクトリー化の更なる推進、不確実で先行きが見通せない社会に対応可能な自ら課題を設定し解決できる人材の育成などの取組を推進するとともに、コロナ禍を契機とした「新たな日常」に適した新しい形の交流と協働を模索し、新たな価値の創造に引き続き取り組んでいく。

## 1 スタートアップの創出及び成長支援の推進

スタートアップの更なる創出と成長ステージに即したサポートの新たな取組み、拡充を京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の構成団体と協働で実施するとともに、大阪・兵庫のスタートアップ・エコシステムコンソーシアムと連携しながら、エコシステムの確立と協議会の運営を推進する。

### (1) スタートアップ・エコシステムの充実

#### ① スタートアップの創出に向けた支援

先輩起業家やベンチャーキャピタル経験者等によるプレシード期、シード期にあるスタートアップへのアドバイスやスタートアップ間のコミュニティ形成などを支援することで、スタートアップが創出される環境を整備する。

#### ② スタートアップの成長ステージに即した支援

スタートアップの成長ステージや事業分野に即したアクセラレーションプログラムへの参画や、組織形成、資金調達などに関するセミナーやピッチの開催により、首都圏等のベンチャーキャピタルとの関係性を築き、資金調達におけるエコシステムの充実を図る。

### ③ スタートアップに関する情報を発信

スタートアップに対し、支援情報やイベント情報を発信するとともに、国内外の投資家やベンチャーキャピタル等に京都のスタートアップの魅力、情報を発信していく。

## (2) 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営

京都のスタートアップの現状や課題、支援メニューの効果等を構成団体で共有するとともに、課題解決に向けたワーキングを随時開催する。

## (3) 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携

イベント参加の対象地域を京阪神に拡充するなど、大阪、兵庫のスタートアップ・エコシステムと支援メニューやイベント開催を連携することで、京都のスタートアップの成長速度を高めていく。

また、グローバル拠点都市に選定された京阪神各都市の強みを生かし、国の実施する産学連携や起業家人材育成プロジェクトにも参画していく。

## 2 産学公連携の推進に関する事業

オール京都の産学公金のネットワークを活かし、オープンイノベーションの更なる推進、人文社会学系大学が実施している地域連携への支援、関係団体との連携による情報交換、情報発信に資する取組みを行うとともに、スタートアップ・エコシステムの活性化につながる取組みを産学公の連携を通じて進める。

### (1) 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

#### ① コーディネータ交流会、産学公連携セミナー

コーディネータ育成のための交流会、産学公連携セミナー等を開催し、産学公連携に携わる実践的な人材を育成する。

#### ② 産学公連携実践事例調査

京都の産学公連携の現状や成功事例を調査分析し、今後の産学公連携の在り方について、提案を行う。

#### ③ 産学公連携窓口

企業と大学を、企業側から及び大学側からの双方向で結び付ける相談窓口を設置・運営する。

#### ④ 産学連携共同研究開発事業

産学公連携案件の創出、産業人材育成等に資する事業を共同参画の形で実施する。(産学公連携推進案件の組成を支援し経費の一部を支出する等)

## (2) 地域連携への支援

地域連携を効果的に実施するための大学・学生への支援、また、PBL(課題解決型学習)事業支援を実施する。

## (3) 関係団体との連携による情報交換、情報発信

学生起業家等によるピッチ等を開催し、学生同士、学生と起業家・経済センター入居団体の交流を誘発するほか、国機関・府・市をはじめとする産学公連携支援施策等の情報発信をはじめ相互の情報交換を促進する。

# 3 スマート社会の実現に関する事業

中小企業等に対して、製品化やエネルギーコスト削減、IoT や AI 等の先端技術等を活用した生産性の向上につながるスマートファクトリー化への支援を行うとともに、京都産業EMS推進本部として、産業EMSの裾野をさらに広げ、産業支援機関とのネットワークを強化する。

## (1) スマート産業関連の生産性向上

専門のコーディネーターを設置し、スマート社会実装化促進事業等を通じて、エコ・エネルギー分野の推進やIoT・AIを活用してイノベーションを図る中小企業の支援を行うとともに、スマート産業の効果的な普及等を図るための各種セミナー、研究会等や京都スマートプロダクト認定事業を実施し、企業の情報発信・販路開拓、人材育成等を支援する。

## (2) 中小企業等のスマート化、省エネ・節電対策

- ① エネルギー消費・生産計画等の見える化による改善や生産性向上を目的にしたスマートファクトリーの促進を支援する事業や、事業者向け自立型再エネ設備等の設置を助成する事業をオール京都で展開するとともに、専門家による診断事業を充実させる。
- ② 中小企業が行う省エネ設備改修に要する経費の一部を補助することで、省エネ・節電に通じた、温室効果ガス排出量の削減及びクレジットを創出する。

## (3) スマート産業に関わるネットワーク形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びスマートファクトリー関連事業者とのネットワークの形成、京都府内の中小企業等支援機関との情報共有・連携の強化を行う。

# 4 産業人材の育成支援に関する事業

企業を取り巻く環境が大きく変化する中、産業構造の転換に対応した高度人材の育成など、次代の京都産業を担う人材を総合的に養成する。

### **(1) 産業人材育成に係る企画、運営**

経済団体や産業支援機関が実施する研修等の効果的な実施に向けて連携と情報共有を図るとともに、重点的な分野別研修等を企画・運営し、事業発信やオール京都で次代の京都産業を担う人材を育成する。

### **(2) 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進**

デザイン・伝統産業などテーマに特化した企画や大学、高校との連携によるビジネスサポートプログラムの実施、中小企業大学のサテライトゼミの活用など、次世代の京都産業を担う人材の育成に向けた取組みを推進する。

### **(3) 「京商知恵基金」と連携した人材育成の推進**

京都商工会議所が展開する「京都・知恵アントレプレナー支援プログラム(K-CAP)」による人材育成、若手起業家の支援事業について、連携して実施に取り組む。

## **5 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業**

京都経済センターに集まる多様な人々の交流と協働を通じて、新たなネットワークの創出やオープンイノベーションを促すことで、新たな価値の創造を図る。

### **(1) オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営**

#### **① 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」の活用促進**

多彩な交流から新しい価値の創出につながるイベントを開催し、学生や女性、若い世代を中心とした利用促進を図るとともに、学生による受付体制を強化することで、若年層の利用者獲得と、スタッフ及び利用者間のコミュニケーション拡充を目指す。また、利用者や支援機関等の交流と協働による幅広いKOINコミュニティの形成を図る。

#### **② 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援の取組の実施**

ビジネスのアイデアを育て、具体化をサポートする「KOIN アクセラレータープログラム」や「ビジネス実践ラボ」、オープンイノベーション手法による新事業創出等、新たなチャレンジを支援するとともに、更なるビジネス展開に向けた様々な課題解決等に、関係機関と連携して取り組む。

#### **③ SNSや掲示板等を活用した情報発信の強化**

オープンイノベーションカフェ「KOIN」で行う取組みや、新事業の創出に関する情報等を発信するとともに、利用者やイベント参加者が自ら取組みや成果、商品・サービスを発信、PRできる情報発信機能を強化し、交流と協働の拡大、深化を図る。

#### ④ ネットワークを活用した起業支援の充実

産業支援機関やコワーキング施設運営者、金融機関等、創業のエコシステムを構成する団体とスタートアップ等を結びつけるハブとしての機能を果たすとともに、支援機関等とも連携しながら、起業アイデアから事業化まで一貫した支援体制を構築する。

### (2) 京都産業及び京都企業の魅力発信

展示・PRブースや WEB 等の様々なメディアを活用し、京都産業の多様な魅力や企業の強みなどを幅広く発信するとともに、事業実践やテストマーケティング支援などの事業を通じて、京都産業及び企業のプロモーション・魅力発信を図る。